

オンラインによる筆記試験の概要について（法学部・法科大学院）

2020年6月19日

法学政治学研究科長・法学部長 大澤 裕

法曹養成専攻長 橋爪 隆

オンラインによる筆記試験の実施は、本学部・大学院としても初めての試みであるため、技術的・事務的な観点から、さらに検討すべき課題が残されていますが、学生のみなさんに、少しでも早く具体的なイメージを共有していただくために、現段階における実施の方針をお示しいたします。細部の内容については、今後、変更の可能性があり得る旨、ご留意下さい。

1. 試験問題の提示方法

- ・試験実施の1日前に、UTASを用いて、試験問題のデータ（パスワードを付したPDFデータ）と、オンライン試験を実施するZoomのウェビナーのURLを告知する。
- ・オンライン試験当日は、Zoomのウェビナーにアクセスする。試験開始時に、試験問題のパスワードを告知する。ウェビナーにアクセスできない場合は、個別の連絡に応じて、パスワードのないPDFファイルを送信する。

2. 答案の作成方法

- ・答案は、所定の答案用紙に、ペンまたは万年筆を用いて、手書きで作成する（PCでの答案作成を許可する科目を除く）。答案用紙は、事前にダウンロードし、必要な枚数を印刷して準備する（自宅での印刷が困難な場合は、答案用紙を配布する）。
- ・試験の開始段階で、受験者の本人確認を行う。
- ・解答に際しては、文献資料、オンラインのデータベースなど全ての資料を参照することが認められるが、第三者と相談したり、指導を受ける行為は禁止し、不正行為とする。不正行為が発覚した場合には、東京大学学生懲戒処分規程に基づき、厳正に対処する。
- ・オンライン試験中は、問題訂正や質問に備えて、ネットワーク接続を維持する。接続を維持できない場合には、その旨を連絡する（問題訂正等があった場合、個別に通知する）。
- ・試験問題は、科目によっては、2～3問に分割して出題することがある。この場合には、小問ごとに試験問題PDFをアップロードし、かつ、小問ごとに解答時間を設け、その都度、開始時に試験問題のパスワードを告知する。

3. 答案の回収方法について

- ・試験終了時に、携帯電話等を用いて答案を写真撮影した上で、Google Formを利用して、指定のフォルダに答案のデータを提出する。小問形式の場合には、小問の解答終了時に

写真撮影を行い、その後、写真データをアップロードする（アップロードを小問ごとに行うか、全ての問題が終了した後に一括して行うかは、検討中）。全員の答案データのアップロードが確認できた時点で、オンライン試験を終了する。

- ・オンライン試験終了後、一定の期間内に、郵送または学内の提出ボックスへの投函によって、答案の原本も提出する。

4. その他

- ・学部・法科大学院ごとにオンライン試験の試行テストを実施（実施日は未定）する（参加は任意ですが、オンライン試験を受験する可能性がある学生のみさんには、ぜひ試行テストへの参加をお願いいたします）。
- ・通信環境が十分ではなかったり、携帯電話やカメラ等を所持しないなどの事情から、自宅でオンライン試験を受験することが困難な場合には、大学の教室でオンライン試験を受験することを認める方向で、今後、検討する。